

名前： \_\_\_\_\_

学籍番号： \_\_\_\_\_

⑨

プロセスとは \_\_\_\_\_ 中のコマンドやプログラムのことである。

実行中のプロセスの一覧を表示するには、コマンド① \_\_\_\_\_ を用いる。

上記コマンドで得られる情報の以下のエントリの意味を書きなさい

PID \_\_\_\_\_ TIME \_\_\_\_\_ CMD \_\_\_\_\_ TTY \_\_\_\_\_

BSD オプションでは通常オプションの前につける \_\_\_\_\_ 記号が不要である。

上記①のコマンドについて以下の BSD オプションの意味を書きなさい

a \_\_\_\_\_ u \_\_\_\_\_ x \_\_\_\_\_

自分以外のユーザーのプロセスや、端末を持たないプロセスである \_\_\_\_\_ などを  
含む、全てのプロセスの詳細を表示するには \_\_\_\_\_ とする。

実行中の全プロセスの数を確認するには \_\_\_\_\_ とする。

複数のユーザーが存在する \_\_\_\_\_ システム上で動いているプロセス  
には、それぞれに \_\_\_\_\_ や \_\_\_\_\_ などの情報が付与されていて適切に  
管理されている。

BSD オプションの \_\_\_\_\_ を用いると、プロセス間の親子関係が表示される

通常のオプションの \_\_\_\_\_ を用いると、それぞれのプロセスに記号 \_\_\_\_\_ で表  
される親プロセス ID が表示され、プロセス間の親子関係を認識できる。

新しいプロセスは、すでに存在するプロセスの複製により環境を引き継いで作られる。この  
プロセスの複製のことを \_\_\_\_\_ と呼ぶ。

ジョブとは複数の \_\_\_\_\_ を組み合わせたものであり、後者がカーネルから見た  
処理単位であるのに対して、ジョブは \_\_\_\_\_ から見た処理単位であると言える。

実行中のジョブの一覧を見るためには \_\_\_\_\_ とする。出力にプロセス ID を表  
示するためには \_\_\_\_\_ オプションをつける。

現在ターミナル上で実行されているジョブを一時停止するためには \_\_\_\_\_ とする。

一時停止したジョブ（カレントジョブ）を再度実行するには \_\_\_\_\_ とする。

一時停止したジョブを、実行中もプロンプトが使える状態（バックグラウンド）で実行する  
には \_\_\_\_\_ とする。

sleep 30（30 秒何もしない）を最初からバックグラウンドで実行するにはコマンドライン  
の末尾に \_\_\_\_\_ をつけて実行する。

実行中のプロセス ID 123 のプロセスを停止するには \_\_\_\_\_ とする。

実行中のカレントジョブ(%1)を停止するには \_\_\_\_\_ とする。

Kill コマンドのシグナル ID：番号の意味を書きなさい

TERM:15 \_\_\_\_\_ KILL:9 \_\_\_\_\_ TSTP:20 \_\_\_\_\_

INT:2 \_\_\_\_\_